

市民活動団体の通信簿（セルフチェックシート）

団体名 もはら検定ガス博士実行委員会

団体及び事業の概要：ご当地様である「もはら検定ガス博士」の検定および講習会の実施、天然ガスに関する情報の発信、天然ガスを活用して茂原市の活性化を目的とする。

代表者名

横堀 喜一郎

記入日

2024年4月2日

自己評価に関する
団体コメント

2023年度は世の市民活動を行っている団体との情報共有を行い、我々の活動に参加頂いた。HPに活動状況を掲載し、多くの方に活動力について知って頂くことができた。

「市民活動団体の通信簿」は、団体の運営が適切に行われているかを点検するため、会計年度の終了後に、項目別に4段階※で自己評価を実施するものです。

自己評価の結果を、市民活動支援センター「まちびとCaffe」のウェブサイト等で公開することにより、透明性の高い団体であることを広く周知することができます。

※4段階の自己評価

A：適切であった

B：改善を要する

C：抜本的な見直しが必要

D：不適切であった

評価項目と評価の観点	評価
1. 団体運営 総会、役員会等を開催し、団体の事業報告・決算及び事業計画・予算を決議の上、事業を執行している。	A
2. 情報公開 紙媒体やウェブサイト、SNS等を通じて、団体の基本的な情報や活動内容を公開している。	A
3. 目的 団体の目的を明文化し、各事業のふりがえりや見直しを実施している。	A
4. 法令遵守 事業の執行にあたり、法令を遵守している。	A
5. 会計処理 資金の管理について、複数人によるチェック体制があり、会計年度ごとに監査を行っている。	A
6. 市民参加 事業の対象となる地域の課題やニーズを関係者から汲み取り、多様な市民の参加を得ている。	A

当団体は、以上のセルフチェックの内容について、市民活動支援センターのウェブサイト等で公表することを了承しました。